

## 放課後等デイサービス部門安全計画マニュアル

### 【事業所ルーム内について】

- ・利用者がルームに到着した際は送迎ボードにて来所確認を行う。
- ・突発的な急な飛び出し等がある為、ドアベルを設置し安全対策に努める。
- ・支援中は指導員の役割分担を事前に行い、立ち位置等を考えルームの見守りを行う。
- ・トイレ使用の際は使用の確認、必要時見守り・介助を行う。
- ・トランポリン・ブランコ・ボルダリング等の遊具やおもちゃは使用時に安全に使用できるかの確認を事前に行う。
- ・保護者のお迎え時、児童の体調や過ごし方を伝え体調管理に努める。

### 【運転業務について】

- ・3列目以上のある車両には置き去り防止装置を装備する。
- ・送迎表を朝・昼2回のミーティングにて全体で確認を行い、学校毎に乗車者の振り分けを行う。変更があった際は全体へのメールで周知を行う。
- ・乗車後点呼確認を行い、事業所到着後は置き去り防止装置のブザーを止めて降車確認を行う。ルーム入室後出欠ボードで出席状況の確認を行う。
- ・自宅への送迎は送迎表を基に乗車後点呼確認を行う。
- ・夕方の送迎後事業所へ到着した際は置き去り防止装置のブザーを止めて運転手以外の2人目での目視確認を行う。
- ・夕方の送迎時ルームでの様子を保護者へ伝え、体調管理に努める。
- ・制限速度等の交通ルールを遵守し、安全を優先した運転を行う。
- ・送迎ルートでは離合の難しいような狭い道路を使用せず、安全を確保できる道路を使用する。
- ・危険な箇所は報告し、情報共有する。

### 【外出時について】

- ・外出先での道路の歩き方の注意点
  - ※歩行時は歩道の白線の内側、ガードレールの内側を歩く。
  - ※指導員は児童の列の前後（人数に応じて列の中央）に配置して歩く。
  - ※交差点、歩道の切れ目、曲がり角、一旦停止場所等では一時停止し、安全確認を行う
  - ※常に道路周囲の状況、危険物、障害物の有無を確認し、自動車や自転車とすれ違う際には、止まって待つ。又個別に配慮が必要な児童については必要に応じて介助・見守りを行う。
- ・外出前に外出先での注意点の確認を必ず行い、トイレや水分の摂取を促す。
  - ※交通量、道路設備、工事箇所等の確認を行い、事故の危険がある場所の共有を行う。
- ・天候を考え服装、帽子、水筒等持ち物のチェックを行う。帰る前も同様に行う。
  - ※当日の天気・児童の体調・引率者等により実行可能かの判断を行う。
- ・職員間で安全対策や児童の体調等（個別に配慮が必要な児童の有無）の情報共有を行い役割分担の確認を行う。
- ・車両毎に乗車者の名前をボード等へ書き各事業所指導員全員で共有する。
- ・外出前・外出中・外出先から帰る前に点呼を行う。
- ・外出先・帰着予定時間を同事業所役職へ報告し、帰着の報告も同様に行う。

### 【祝日・長期休みについて】

- ・送迎時・来所時には健康確認・持ち物の確認を行う。
- ・食事については基本昼食を持参していただく。  
※児童が持参した昼食はクーラーボックスに保冷剤を入れて保管をする。  
※昼食時は個別に配慮が必要な場合は食材のカットを行うと共に介助・見守りを行い誤嚥等の事故防止に努める。
- ・長期休暇のイベントは4事業所でのミーティングを行い放デイ全体のスケジュールの把握を行う。
- ・外出場所の下見を事前に行い、目的地までの所要時間・出入口・トイレ・危険箇所・注意点等を各事業所指導員全員で確認する。
- ・イベントや遠距離外出時は一日のスケジュールを作成し、指導員で共有すると共に担当役員へ提出する。
- ・外出先で危険な状況を感じた場合には、各事業所役職員の判断で予定の変更を行い、安全を確保する。

### 【調理実習イベントについて】

- ・衛生的に行う為、手袋、マスクを着けて行う。
- ・調理器具の消毒を行い、高温になる調理器具の取り扱いに注意する。
- ・季節によっては食中毒注意報の確認を行い、食品の取り扱い、賞味期限等に注意する。
- ・事前のスケジュールを指導員全員で確認し、指導員の配置や児童の危険な行動を予測し共有する。
- ・児童に分かりやすい手順で説明を行い、見通しのつくようにする。
- ・調理した物を食べる際に個別に配慮が必要な場合は食材のカットを行うと共に介助・見守りを行い誤嚥等の事故防止に努める。
- ・片付けの時間帯は指導員の配置に注意する。

### 【プール・水遊び等について】

- ・プール用具のチェックを行い安全に使えるかどうか事前に確認する。
- ・更衣室（男子・女子）の準備、指導員の配置等スケジュールを共有する。
- ・プールの設置場所の出入り口、動線、除草や危険ポイントのチェックを行う。
- ・天候を考えて晴天の際はタープ等で日陰を作り、熱中症対策を行う。天候によっては中止の決定を行う。

### 【イベント等の実施後について（振り返り・改善点等）】

- ・外出やイベント実施後は必ず振り返りを行うと共に注意点・改善点についての情報共有を行う。  
又、ヒヤリハットの分析を行い事故防止に努める。
- ・児童の特性にあった安全指導（交通ルール・危険な行動等）を行い危険感受性を高める。